

作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

台座置き 壁付

※台座置き作品は台座のサイズも分かるように記入すること
※台座のサイズは自由

作品 および 設置イメージ・説明・制作方法



寸法 幅910 × 奥行60 × 高さ1820mm × 2点
素材 カラミ、ボンド、木材

スラグ (slag) とは、鉱石から金・銀・銅といった金属を製錬する際などに、溶融した金属から分離して浮かび上がるかすのことです。これを日本語では鉱滓 (こうさい) と呼び、非鉄金属の場合は鍔 (カラミ) とも言います。金や銅 (=人間にとっての資源・価値のあるもの) を取り出す際に不純物として廃棄されたスラグは、社会の中で不要とされ、忘れ去られたものや場所、歴史などを象徴するような存在として捉え、半立体作品を制作したいと考えています。

秋田県鹿角市にある尾去沢鉱山は、総長800kmにも及ぶ坑道が張り巡らされており、日本最大級の鉱山として長年日本を支えてきました。しかし、侵された山脈は瀧過の途中で、強酸性の汚水に変えます。尾去沢鉱山は今でも汚水が流れ続けていて、それを一時的に貯水し、石灰で中和することを地球が滅ぶまで、半永久的に誰かがやらなければなりません。この作品は尾去沢鉱山の等高線をトレースしており、水の流れを表現しています。



↑ 作品設置イメージ

自然と人工、どちらも必要なのは間違いなく、近代の産業の歴史は私たちの今ある社会の礎となったことは間違いありません。現代社会で生きる私たちは、今も多くの問題を抱える社会と自身の生活の場を往還しているような状況です。この作品をエントランスに設置することで、社会と生活のバランスやSNS等の繋がりなどを再考するものとして提示することが可能となるでしょう。



↑ 作品習作(50号)

作品名	さいわい	作品NO.	90
素材	カラミ、ボンド、木材	想定重量	20 kg
作品サイズ	横幅 2000 × 高さ 1820 × 奥行 900 (単位: mm)		

作品コンセプト

スラグ (slag) とは、鉱石から金・銀・銅といった金属を製錬する際などに、溶融した金属から分離して浮かび上がるかすのことです。これを日本語では鉱滓 (こうさい) と呼び、非鉄金属の場合は鍔 (カラミ) とも言います。金や銅 (=人間にとっての資源・価値のあるもの) を取り出す際に不純物として廃棄されたスラグは、社会の中で不要とされ、忘れ去られたものとして捉え、半立体作品を制作したいと考えています。現代社会で生きる私たちは、今も多くの問題を抱える社会と自身の生活の場を往還しているような状況です。この作品をエントランスに設置することで、社会と生活のバランスやSNS等の繋がりなどを再考するものとして提示したいです。

【過去の自分の作品】 ※画像や写真等を配置もしくは貼り付けてください

